

番 号 : 150247

国 名 : 全世界

担当部署 : 地球環境部水資源グループ水資源第一チーム

件 名 : 上水道分野における資金協力にかかる技術支援業務 (都市給水)

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務 : 都市給水
- (2) 格 付 : 2号
- (3) 業務の種類 : その他

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間 : 2015年6月上旬から2016年3月下旬まで
- (2) 業務M/M : 国内 2.50M/M、現地 2.00M/M、合計 4.5M/M
- (3) 業務日数 : 準備期間 35日 現地業務期間 60日 整理期間 15日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数 1部
- (2) 見積書提出部数 : 1部
- (3) 提出期限 : 5月13日(12時まで)
- (4) 提出方法 : 専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル)(いずれも提出期限時刻必着)

※2014年 2月26日以降の業務実施契約(単独型)公示案件(再公示含む)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。提出方法等詳細についてはJICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約(単独型)簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」([http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204\\_02.html](http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html)))をご覧ください。なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご注意ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等
  - ①業務実施の基本方針 16点
  - ②業務実施上のバックアップ体制等 4点
- (2) 業務従事予定者の経験能力等
  - ①類似業務の経験 40点
  - ②対象国又は同類似地域での業務経験 8点
  - ③語学力 16点
  - ④その他学位、資格等 16点

(計100点)

類似業務 :	上水道に係る各種資金協力関連業務
対象国/類似地域 :	全世界
語学の種類 :	英語

## 5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：特になし
- (2) 必要予防接種：特になし

## 6. 業務の背景

JICAは、開発途上国の上水道セクター（都市給水）における開発目標の達成を支援するため、施設・機材の整備を中心として有償資金協力及び無償資金協力を実施しており、案件形成の段階では、協力準備調査や審査ミッション等を通じて現状把握や事業の必要性・妥当性の確認を行い、事業内容や規模（事業費）の調整、実施スケジュール等実施方針の決定など、事業計画の立案業務を行っている。JICA地球環境部では上水道セクター（都市給水）に関する課題の知見を踏まえ、技術的な観点から、他部署の実施する協力案件の案件形成、実施監理支援、助言等を行っている。

## 7. 業務の内容

本業務の業務従事者は、上水道セクター（都市給水）の資金協力の案件形成及び審査に関する以下の検討を行う。具体的担当事項は次のとおりとする。

(1) 新たに実施する協力準備調査等の案件形成段階において、都市給水の観点で次の技術支援を行う。具体的な対象プロジェクトは以下から1件、派遣回数は2回（計18日）程度を想定する。なお、対象プロジェクトについては変更もありうる。

- ・ ミャンマー国 ヤンゴン都市圏上水整備事業フェーズⅡ
- ・ ザンビア国 ルサカ市上水道改善事業
- ・ インド チェンナイ海水淡水化施設整備事業 等

### ①国内準備作業

関連資料の分析を踏まえた上で、以下について、技術的観点から検討を行う。

- ・ 協力準備調査の調査項目(案)、コンサルタント要員配置計画(案)、調査費用の積算(案)
- ・ 調査方針・スケジュール(案)等、対処方針資料
- ・ 現地で収集すべき情報項目

### ②現地派遣期間

現地で行う各種レポート協議（インセプションレポート、インテリムレポート、ドラフトファイナルレポートの説明及び確認等）に参加し、以下の内容について技術的観点から検討を行い、その結果を取りまとめ、JICA地球環境部に提出する。

- ・ 事業計画の妥当性（対象国の現状調査含む）
- ・ 事業費の妥当性
- ・ 実施スケジュールの妥当性
- ・ 事業実施能力の妥当性
- ・ 環境への影響等

### ③帰国後整理期間

調査で得られた情報を分析した上で、当該プロジェクトについて技術的観点から3ページ程度の「テクニカルレポート」に取りまとめ、JICA地球環境部に提出する。

(2) 新たに実施する円借款プロジェクトのファクトファインディング、アプレイザル（審査）等において、都市給水の観点で次の技術支援を行う。対象プロジェクトは以下から2件、派遣回数は3回（計42日）程度を想定する。なお、対象プロジェクトについては変更もありうる。

- ・インド国 インパール上水道整備事業
- ・インド国 チェンナイ海水淡水化施設整備事業
- ・スリランカ国 水セクター開発事業（Ⅲ）
- ・セネガル国 マメル海水淡水化施設整備事業
- ・イラク国 南部上下水道開発計画に係る情報収集・確認調査
- ・ミャンマー国 ヤンゴン都市圏上水整備事業フェーズⅡ
- ・ザンビア国 ルサカ市上水道改善事業 等

なお、ファクトファインディングミッションでは、主に案件の内容を確定させることを調査の主眼としており、プロジェクトの技術的妥当性の検討と技術審査レポートの草案の作成を目的とする。

アプレイザルミッションについては事業費の設計・積算を主眼としており、プロジェクトの技術的妥当性の最終的な審査とファクトファインディングミッションで作成したレポート草案の精度を更に高めることを目的とする。

### ①国内準備作業

既に実施されている協力準備調査等から事前に得られる情報を分析するとともに、以下について、技術的観点から助言を行う。

- ・調査時の留意点（現地で収集・確認すべき情報に考慮した調査方針・スケジュール（案）等や対処方針資料）
- ・想定される事業計画案（設計案、事業費積算案、事業実施スケジュール案等）の技術的妥当性等

### ②現地派遣期間

ファクトファインディング及びアプレイザル（審査）にかかる現地調査に参加し、下記の観点で技術的助言を行う

- ・事業計画の内容（本邦技術活用の可能性分析、コンサルタントTOR・専門家要件・所要MM分析を含む）
- ・事業費の妥当性
- ・調達・施工方法の妥当性
- ・実施スケジュールの妥当性
- ・事業実施能力の妥当性
- ・環境への影響等

### ③帰国後整理期間

調査で得られた情報を分析した上で、当該プロジェクトについて技術的観点から20ページ程度の技術審査レポート（案）に取りまとめ、JICA地球環境部に提出する。

## 8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は（４）業務完了報告書とする。

### （１）業務計画書

- ①概要・記載項目：実施方針、活動計画、業務フローチャートを作成する。
- ②提出時期： 2015年6月中旬
- ③分量： A4 5ページ程度（添付資料除く）
- ④提出方法・部数： 正1部、電子データ
- ⑤作成言語： 和文
- ⑥様式： 任意

### （２）テクニカルレポート

- ①概要・記載項目： 結果概要
- ②提出時期： 原則として協力準備調査帰国後から2週間以内
- ③分量： A4 3ページ程度（添付資料除く）
- ④提出方法・部数： 正1部、電子データ
- ⑤作成言語： 和文
- ⑥様式： 別途指定する様式に基づき作成

### （３）技術審査レポート（案）

- ①概要・記載項目：  
審査調書に記載されなかった技術面の情報のうち、事業開始後の案件監理・事後評価・JICA 内のナレッジ蓄積に有用と判断される事項（技術審査項目に係る検討の過程やその結果に係る判断根拠、案件監理に係る留意事項、等）を記載する
- ②提出時期： 原則として審査ミッション帰国後から2週間以内
- ③分量： A4 20ページ程度（添付資料除く）
- ④提出方法・部数： 正1部、電子データ
- ⑤作成言語： 和文
- ⑥様式： 別途指定する様式に基づき作成

### （４）業務完了報告書

- ①概要・記載項目：業務の具体的内容、達成状況、業務実施上の課題とその対処
- ②提出時期： 2016年3月上旬
- ③分量： A4 10ページ程度（添付資料除く）
- ④提出方法・部数： 正1部、電子データ
- ⑤作成言語： 和文
- ⑥様式： 任意

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」

(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。留意点は以下のとおり。

(1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含めず、当機構より別途支給します（見積書の航空賃及び日当・宿泊料等欄には0円と記載下さい）。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

①現地業務日程

現地派遣期間は9日～14日程度で5回程度の派遣を想定しています。

②便宜供与内容

ア) 空港送迎

あり

イ) 宿舎手配

あり

ウ) 車両借上げ

必要な移動にかかる車両の提供

エ) 通訳備上

なし

オ) 現地日程のアレンジ

関係部署がアレンジします。

(2) 参考資料

特になし

(3) その他

・業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

・本業務に従事した法人及び個人はファクトファイディング、アプレイザル（審査）に関与した円借款プロジェクトについては、本体事業への参画を認めません。

以上